

テーマ やさしいライオン

しよめい	しよしゃ	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう	ないよう
『うがいライオン』	ねじめ正一／作 長谷川義史／絵	すずき出版	エホン／ハ	きばをむきつよそうにみえるどうぶつえんのライオンが、わざと、つるつとすって、けんぶつきやくをわらわせてみせた。すぐにはんせいをして、ライオンらしく「がおーっ」とほえまくった。だんだんと、のどがかれてきたのでうがいをしようとおもうのだが。
『ジオジオのかんむり』	岸田衿子／さく 中谷千代子／え	福音館書店	エホン／ナ	ライオンのおうさまジオジオは、としをとり、だれかとゆっくりはなしてみたくになりました。やがてとりがやってきて、たまごがなくなったことをジオジオにはなしたのです。ジオジオは、たまごをうむにはもってこいのばしょを、ないしょでとりにおしえました。
『ダンデライオン』	ドン・フリーマン／さく アーサー・ビナード／やく	福音館書店	エホン／フ	ダンデライオンはジェニファー・キリンからパーティーにしょうたいされました。とこやへいき、ジャケットとぼうしとステッキもかかってかんぺきなしんしにへんしんです。いえにいきますが、だれだかわからずいれてもらえません。ダンデライオンはどうするのかな？
『イソップものがたりライオンとねずみ』	ジェリー・ピンクニー／作 さくま ゆみこ／訳	光村教育図書	エホン／ヒ	このえほんはぶんのないほんです。でも、ていねいなえで、どんなばめんかすぐにわかります。ライオンにたすけられたねずみが、こんどはライオンのピンチのときにたすけます。ライオンのちからづよさとねずみのかしこさがよくえがかれています。
『としよかんライオン』	ミシェル・ヌードセン／さく ケビン・ホークス／え 福本友美子／やく	岩崎書店	エホン／ホ	ライオンがとしよかんにやってきました。ライオンは、きちんととしよかんのきまりをまもりまします。子どもたちともなかよくなって、としよかんのおねえさんがえほんをよむのをじっときいています。ところが、としよかんのきまりをやぶって、はしってしまうできごとがおこります。
『ラチとらいおん』	マレーク・ペロニカ／ぶん・え とくなが やすもと／やく	福音館書店	エホン／ヘ	よわむしのラチがちいさならいおんにであうおはなしです。らいおんはラチに「つよくしてやるよ」といいます。いっしょに、たいそうしたり、かわいいぬのそばをとったり。ラチはどんどんつよくなっていきます。らいおんがいなくても、ラチはなんでもできるかな。